

その他の建設業－その他における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	地面から1m50cmの高さの岸壁で、オビタルサンダー500gの重さで手のひらの大きさの機械で船のペーパーかけをやっていた時に、ペーパーをかける所で体をかわした時に腰がグギっとなってぎっくり腰になり、転んで脳震盪を起こした。	25～9	1
1	10～11	段付きの標識5m柱（約40kg）を設置するため、地面に横にしてあった柱を起す際、バランスをくずし腰に負担がかかり、激痛に襲われながらも柱を45度まで持ち上げる作業を続け、そのあと動けなくなった。	40	—
1	14～15	台所に450角の天検口を取り付し、作業を終了後、作業所の片付けをしていた。作業所内の便所を出る時、段差（23cm）を右足を下ろした時に捻挫したと思っただが、腫れが生じ、右足首のくるぶしの下と小指のつけ根を骨折していることが判明した。	49	—
2	15～16	会社の資材置場で片付け作業中、移動式クレーンで単管を移動していた。吊り上げロープを持っていたところ後から呼ばれたので、振り向いたところ、ワイヤーが吊り上がった。手をはなすのが一瞬遅れて靭帯が伸びた。	42～9	1
3	16～17	機材センター内でシート片付作業中、足元の段差に気づかず足を置き足首を捻り、足首を負傷した。	61～9	1
3	15～16	作業現場にて、砂利を集めて詰めた20kg前後の土嚢袋を膝を曲げず伸び切った状態で、注意を払わず背中を丸めて力任せに持ち上げたところ、腰を痛めた。	24～9	1
		塗装工事において、ローラーを使い屋上床部を中腰前かがみで塗装工事を行って		1

3	8~9	たとき、急に立ち上がったところ、腰部を捻り負傷した。当面は現場作業に行っていたが、その後も痛みが引かなかった。	36	~ 9
4	11~ 12	塗装の材料をもって足場に上ったとき、屋根ですべり左手肩左足を捻ってしまった。	52	~ 9
4	15~ 16	広路で、給水ポンプのカバー（自動販売機程の形と大きさ、重さ約30kg）を持ち上げる際に、設置場所が階段下の天井が低い狭い場所のため、姿勢の悪い状態（かかんだまま）で持ち上げたところ、腰を痛め歩行することができなくなった。	35	~ 9
4	9~ 10	住宅解体工事で丸太組みを1人で行う事になり、丸太を1人で持つのは難しく、丸太を持ち上げた時に頭の上から落としてしまい、首を痛めた。当日はずっと首が痛く、後日に頸椎捻挫と診断された。	35	~ 29
6	16~ 17	個人宅解体工事において、基礎を砕いて出たコンクリート殻（35kg）を一輪車に載せ、階段に板（幅30cm、厚さ4cm）を敷いた上を勢いをつけて上る際に、左足ふくらはぎに痛みがはしった。	58	~ 9
6	11~ 12	当社工場内にて、組み立てたガラス入り障子（縦200cm×横90cm×幅4cm、重量約40kg）をトラック（1t車）に積み込み作業中、障子を両手で持ち上げて荷台に載せようとした時、右肩でブチブチと音がし、右肩が上らなくなった。	44	~ 9
6	14~ 15	社内の資材置場において型枠の組立作業中、左側の脇を型枠に押し付けて、無理な体勢で作業をし、直後は少し違和感があったものの痛みはなかった。その後に痛み出し、少しずつ強くなってきた。左第7肋骨骨折と判明した。	53	~ 9
7	14~15	商品サンプルを配布中、砂利道を歩いていたところ、釘が靴を貫通し土踏まずに刺さり、負傷した。	31	~ 49
7	10~ 11	自社の資材置場で発生、草刈り作業中に足場板を移動している時に腰を痛めた。	22	~ 9
		会社が資材置場にて資材を移動させようとした際、資材が重かったためバールを資		

7	16~ 17	材の下部にかけて引きながらずらしていたところ、バールが資材と地面の間にはさまってしまった。バールを引き抜こうと力を入れて引いたところ、足場が不安定だったため後ろに倒れてしまい、勢いで後においてあった機械に右手の小指をぶつけて負傷した。	50	~ 29	10
7	12~ 13	ビルトインコンロを交換するため、コンロ下部にあるプレートを外す作業をする際、無理な体勢でドライバーを回したため右手首を痛めた。病院に行ったところ、捻挫と診断され、出勤（軽作業）しながら治療するのを待ったが、痛みが治まらず、再度病院を変えて診察してもらったところ、骨折（ヒビ）しているとのことだったので、会社を休み療養することになった。	53	~ 29	10
7	14~ 15	関連会社施設において、テーブル（縦90cm×横150cm）の搬出中、テーブルをトラックの荷台（高さ約90cm）に積み上げる際、腰に過負荷がかかり、負傷したものである。	56	~ 9	1
7	11~ 12	墓所の工事中、コンクリート片を入れた土嚢袋を積んだトップカーで、道幅1m位の急な坂道をバックで降りている際、左側面の石垣に当たりそうになった。ぶつかるのを避けるため、右に急ハンドルをきったときに、体ごと捻じって左足を負傷した。	60	~ 9	1
9	10~ 11	事務所前で4t車に資材の積み込み中、玉外しをして荷台より降りる時に左足をくじいた。	26	~ 29	10
9	9~ 10	朝から工場内にて工事の段取りをしていた、棚の上に置いている材料を引き出してトラックに積み込む為、移動した時、腰を痛めたもの。	37	~ 9	1
10	2~3	コンクリート枕木（150kg）を2名で引きずりながら移動中、腰がグキとなり、左腰から膝までしびれた。	29	~ 29	10
10	10~ 11	機械・道具の点検・整備作業中、ガラス施工機（重さ約65kg）を移動しようとしてしゃがんで持ち上げようとした際、不意に腰部を捻り負傷したものである。	43	~ 9	1

10	11~ 12	外壁改修工事作業に於いて、足場上で中腰の姿勢で電動グラインダーを使用した作業中に体の体勢を変えようとした際に腰を捻って痛みが走り負傷した。	41	1 ~ 9
11	16~ 17	自社資材置場において、ユニッククレーンにて資材積み込み作業中に、クレーンの旋回を見ていて足元の段差に気付かず、段差下で右足を捻り、右第5趾中足骨を骨折した。	49	1 ~ 9
11	17~ 18	ヤード内において、T-439清掃アスファルトのガラを入れたフレコンの上から、片付けのため防災シートで養生しながらフレコン（高さ80cm）から降りたところ、足元の草に隠れていたU字溝（幅20cm、深さ20cm）に左足を突っ込み、その際に足首を捻挫した。当日は、本人から報告が無し。翌朝、当事者から監督に電話で、足が痛いので休んで病院に行くと報告を受けた。	60	10 ~ 29
12	10~11	空調設備工事において、空調の移設、新規設置を行っていたところ、室外機（40kg~50kg）を階段を使い運んでいたとき、急に腰に痛みが走り負傷したものである。	50	1 ~ 9
12	9~10	被災者は、高層棟8Fの南東側建屋内にて床面のガラを片付けようと外壁側に近づいたところ、足元が滑り左足を捻った。足元にはガラが散乱していた。	74	
12	9~10	事業所の駐車場で掃除作業をしているとき、2tダンプが止まってしまったので、それを動かそうと後から押していたところ、右足首に痛みがはしり、右アキレス腱を断裂した。	55	1 ~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html